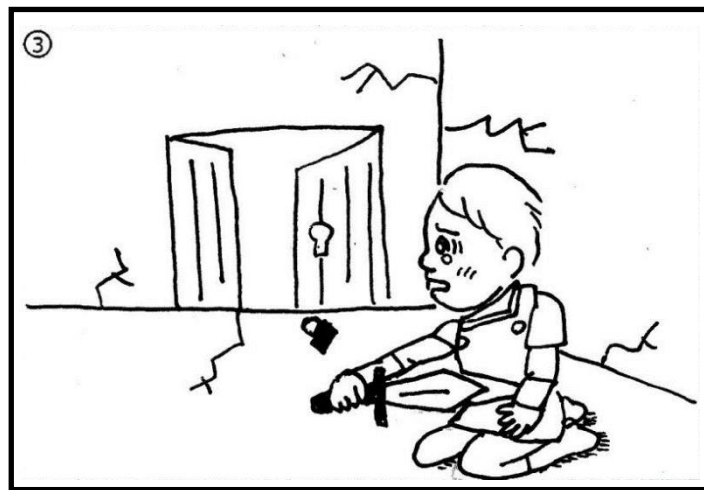
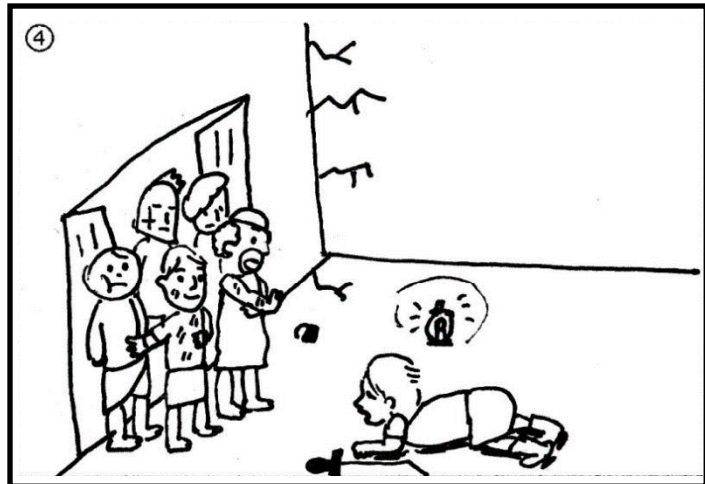


7月3日 聞こえてますか?みんなのSOS 使徒行伝16・6～10

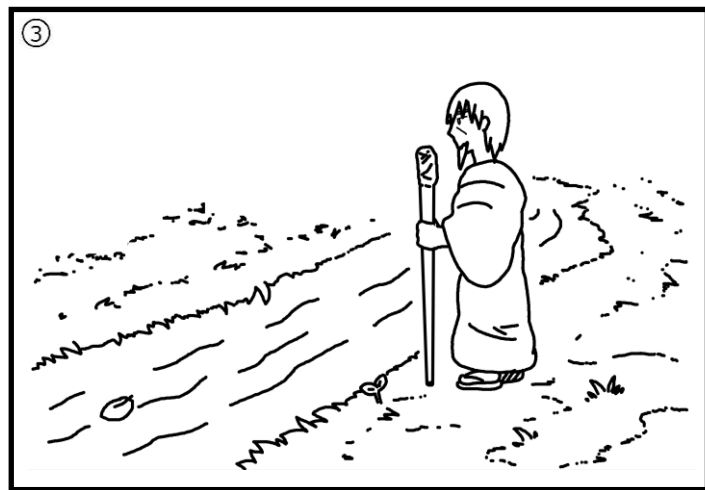
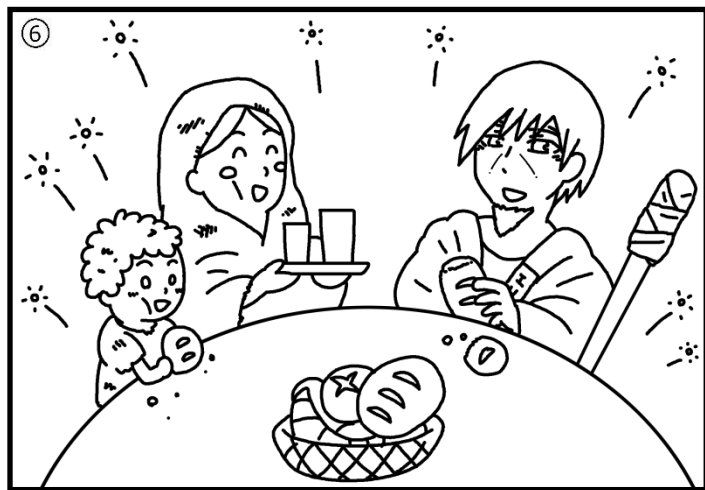
1. 使徒パウロ一行はひたすら祈りながら進んでいました。しかし予定通りにはなかなか進みません。
2. 「どうしてかな」目の前にエーゲ海のひろがるトロアスという場所で、聖霊に「ストップ」と言われました。
3. その夜パウロは幻を見て、海の向こうに住むマケドニアの人が助けを求めていることを知りました。
4. 「そうだったのか! はっきりわかったぞ。さあ! マケドニアに行こう! イエス様の愛を伝えに!」パウロ達は早速船に乗ってマケドニアへ出発しました。
5. 私たちも、神様にお祈りしよう。助けを求めるおともだちにイエス様の愛を届けることができるように。
6. まず一人にイエス様の愛を伝えていこう。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



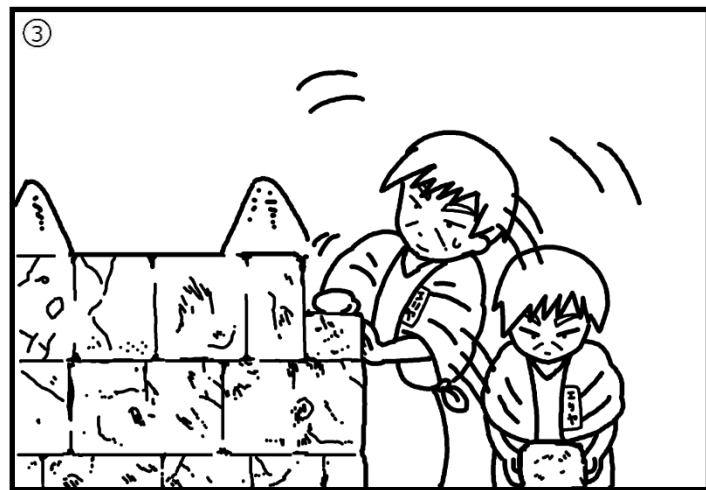
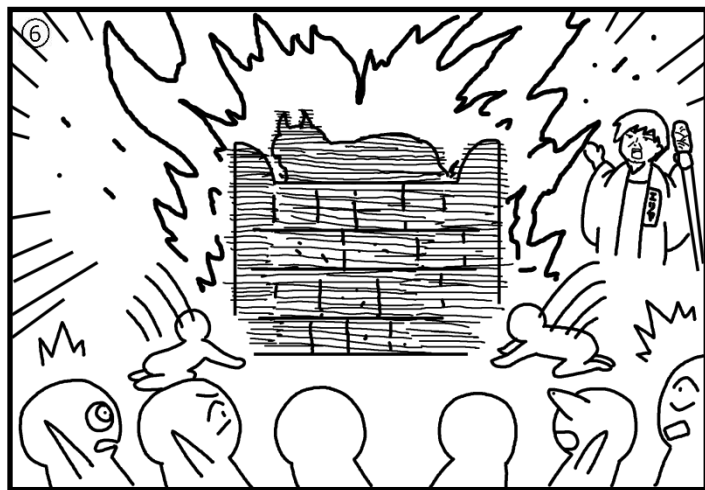
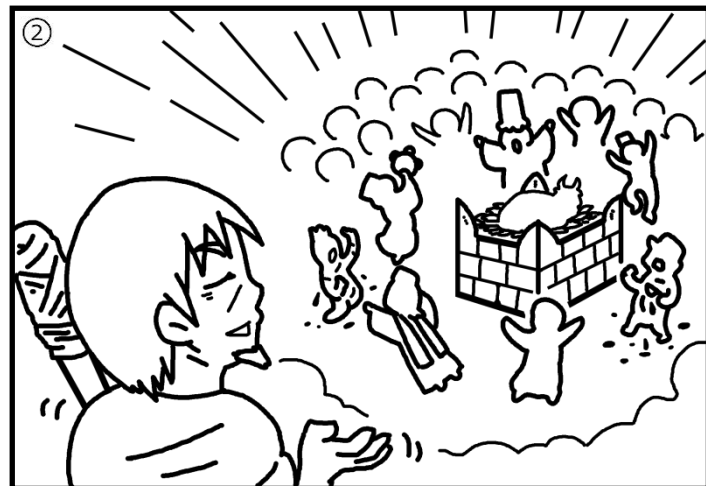
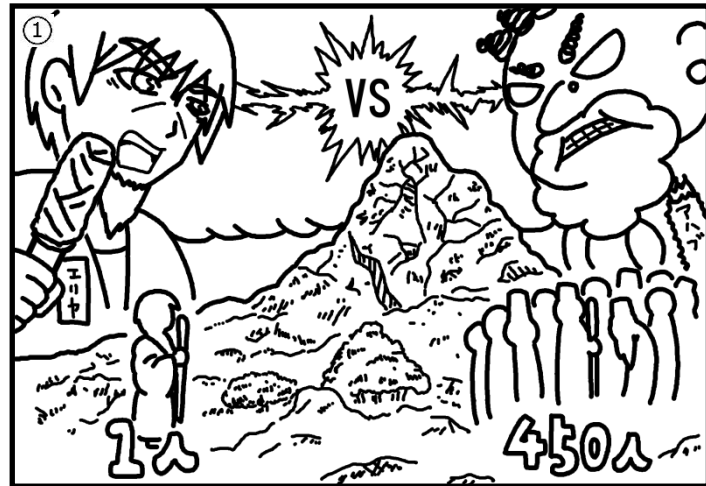
7月10日 獄吏と家族の救い 使徒 16・25~34

1. 使徒パウロとシラスは、獄の中で神様に祈り、賛美をささげていました。
2. 突然大地震が起こり、獄の戸が開き、みんなの鎖が解けてしまいました。
3. 獄が開いてしまっているのを見て、獄を見守る獄吏は、自分が囚人を逃がしてしまったと思い、恐れて、お詫びしなければならぬと、自殺を図りました。
4. パウロは「われわれは皆ひとり残らず、ここにいる！」と大声で伝え、自殺を止めました。獄吏は恐れおののき、ひれふして、パウロとシラスを外に出しました。
5. 獄吏はふたりに言いました。「先生がた、わたしは救われるために、何をすべきでしょうか。」するとパウロとシラスは彼とその家族に神のことばを教えました。彼はすぐふたりをひきとり、傷の手当てをし、その場で家族全員がバプテスマを受けました。
6. そして、獄吏はパウロとシラスを家に招いて食事をもてなし、神様を信じる者になったことを家族みんなで心から喜びました。



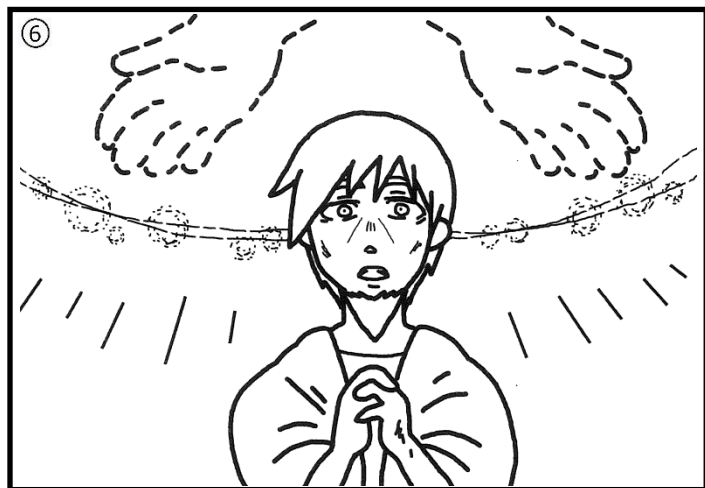
7月17日 仕えよう！生きておられる主に！ 列王上 17・1～16

1. アハブという悪い王様が、偽の神を拝むようにイスラエルの人たちに命令したのです。
2. エリヤはアハブ王に「私が何かを言わない限り、ここ数年、一滴の雨も降らず、露も降りません！」ときっぱりと言いました。
3. 主はエリヤにおっしゃいました「ケリテ川のほとりに隠れなさい。そしてその川の水を飲みなさい。」
4. 神様のおっしゃるとおり、からすが毎日欠かさず、エリヤのところにパンと肉を運んできたのです。
5. 主は「ザレパテに住みなさい。そこのやもめ女に命じてあなたを養わせよう」とエリヤに語られたのです。そして、その町の貧しいやもめのために、「かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない」とエリヤに約束なさいました。
6. 神様は、彼女を通してエリヤを養ってくださったのです。



7月24日 信じて、祈って、いざ、勝利！ 列王上18・20～40

1. カルメル山の頂は大騒ぎ！バアルの預言者は450人、イスラエルの神を信じる預言者はエリヤ一人です。
2. バアルの預言者達は「バアルよ～、どうかお答えくださ～い！」と朝から昼まで叫び続け、踊り続けましたが誰からも何の答えもありません。
3. エリヤは、こわれていた主の祭壇を、丁寧に築き直しました。
4. エリヤの指示で、なんと、三回も水がかけられました。祭壇の周りもみそも、水びたしです！
5. エリヤは祈りました。「主よ、私の祈りに答えてください！あなた様こそ神であることをはっきり知ることができるようにしてください。私の祈りにお応え下さり、火を下してください！」
6. 突然、天から主の火が下って、いけにえや祭壇を全て焼きつくし、みぞの水もすっかり蒸発させてしまったのです。皆ひれ伏して叫びました「今こそ分かりました。主こそ神です。主こそ本物の、唯一の神様です！」



7月31日 失意からの回復 列王上 19・1～18

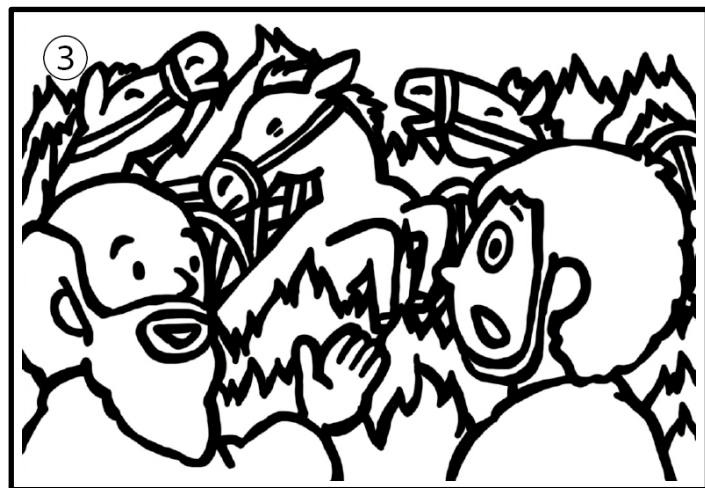
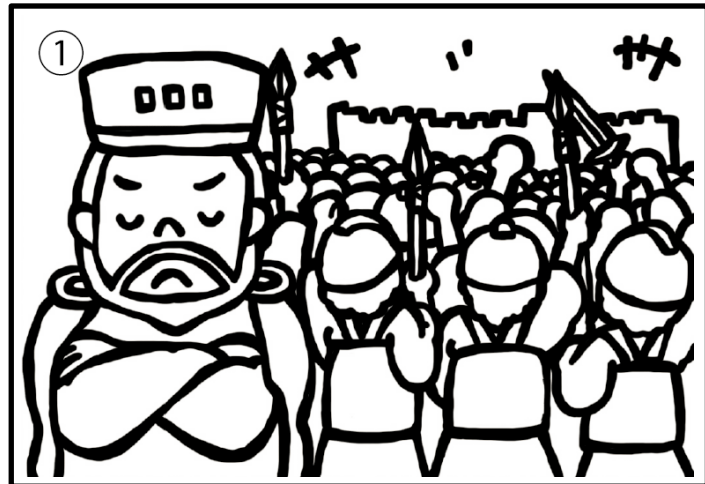
1. 前回エリヤは、全力での真剣勝負でしたから、きっと体も心もエネルギーを使い切ってしまった事でしょう。そしてさらに、雨をもう一度降らせて下さるように、神様に一生懸命祈り続けました。
2. アハブ王様の奥さんの「イゼベル」が、エリヤを脅迫しました。エリヤは恐くなり、遠くに逃げ出しました。
3. エリヤは自分の弱さを、ありのままに出して祈ったのです。
4. 神様はエリヤに、焼き立てホカホカのパンと命の水を下さいました、食べた後はまたグッスリ眠りました。
5. エリヤは遠くの山まで行って、改めて神様の前に出てありのまま祈りました。
6. 神様はエリヤに、静かな優しい声で「あなたは決して一人じゃないよ」という励ましを与えられたのです！

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



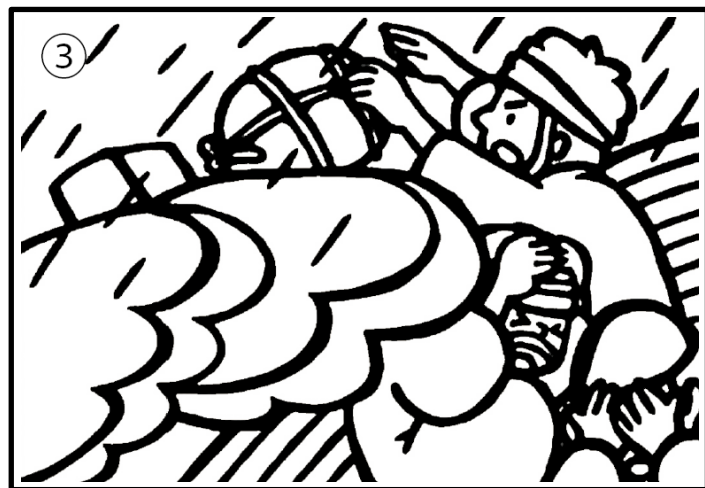
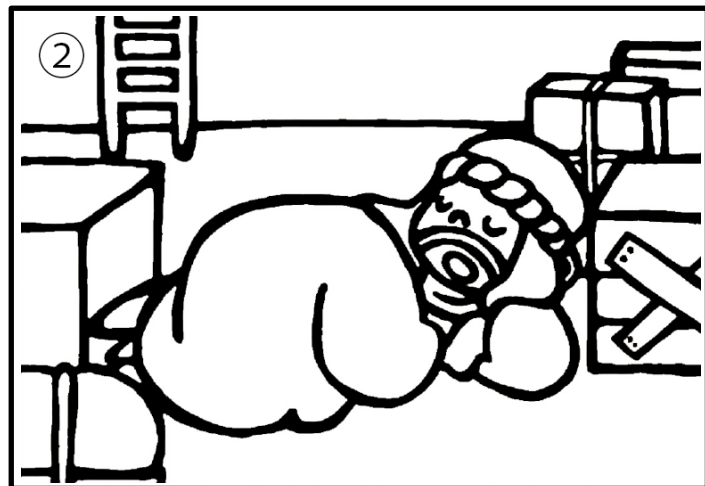
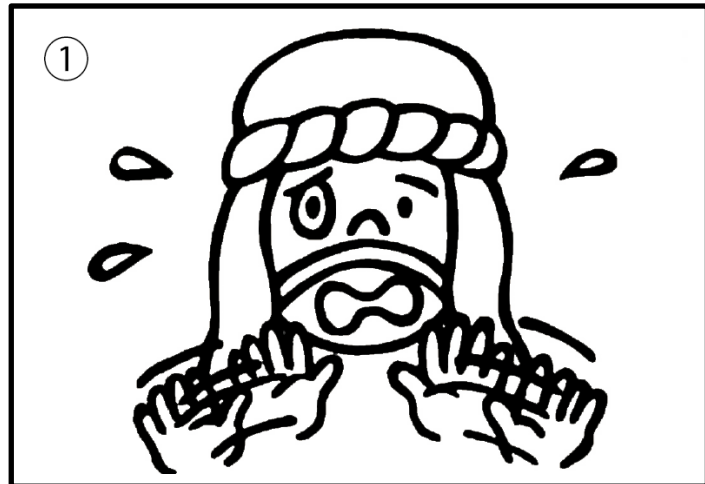
8月7日 どうしてですか？ 隠れた悩みを… 列王下5・1～14

1. 大勇士ナアマンは、強そうな外側の姿からは想像もできない弱点が、隠れたところにあったのです。身体中の皮膚がただれて痛くてものすごく苦しい、重い皮膚病で、ナアマンは悩み続けていました。
2. ナアマンの妻に仕えている少女は「ご主人様、サマリヤにいる預言者のところへ行かれたらよろしいのに。その方が重い皮膚病を治してくださいますわ。」ナアマンはイスラエルの預言者エリシャのことを知りました。
3. ナアマンは贈り物をもって王様にお手紙も書いていただいて、エリシャのお家の前までたどり着きました。ところが、エリシャの使いの者が出てきて、「ヨルダン川へ行って七回身体を洗いなさい…もとのように治って清くなるでしょう」と言いました。
4. かんかんに怒ったナアマンは、来た道を引き返すではありませんか。
5. ナアマンのしもべたちが説得すると、ナアマンは気を取り直しヨルダン川へ下って行きました。
6. ナアマンは言われたとおり、七回、水につかりました。すると皮膚は幼子のようにつやつやし、すっかり治ったではありませんか！「すごい！ まことの神様が癒してくださったのだ！」



8月14日 あなたを守る神の守りを見よう！ 列王下6・15～23

1. スリヤ王はたくさんの軍隊を送ってエリシャを殺してしまおうと、エリシャのいる町を包囲しました。
2. 息を弾ませ駆けつけた召使の若者にエリシャは「恐れることはない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから」と落ち着いた声で言いました。
3. エリシャが「主よ、どうぞ彼の目を開いて見させてください」と祈ると、召使の若者の目に火の馬と火の戦車が山に満ちて、敵よりもずっと多く、力強く守ってくれるのが見えました。
4. スリヤ王とその軍隊が攻めてきたとき、エリシャが「どうぞ、この人々の目をくらませてください」と主に祈ると言葉通りに彼らの目は見えなくなりました。エリシャは兵隊たちを首都サマリヤまで連れて行きました。
5. エリシャが再び祈ると彼らの目は開き、全軍が捕虜となってしまったことに気づきました。
6. イスラエル王はエリシャの言葉に従って、彼らをお客さんとして盛大にもてなし、スリヤの国に送り返してあげました。敵国の人々は、それから二度とイスラエルの国に攻めてきませんでした。



8月21日 神さまから逃げるヨナ ヨナ1・1～17

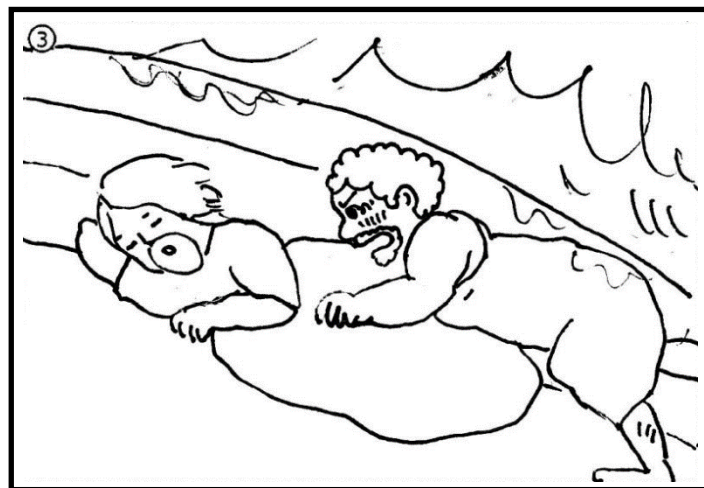
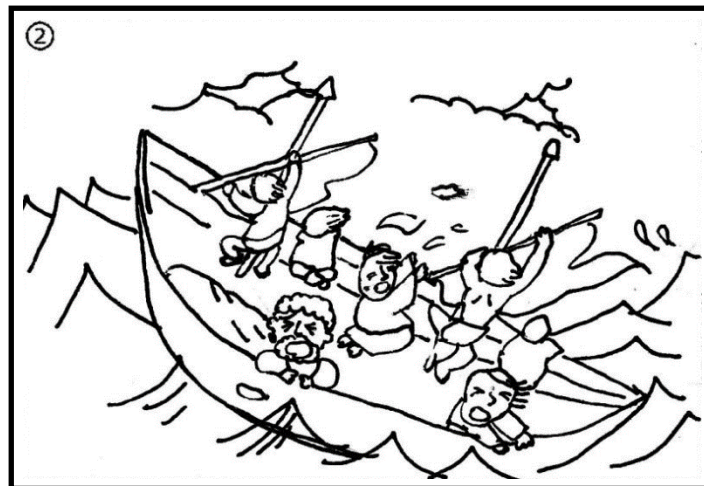
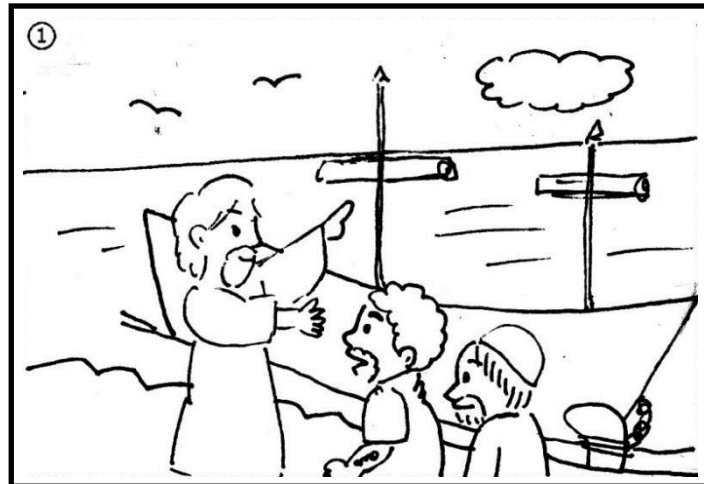
1. 神様はヨナにニネベに行き神様の言葉を伝えるように言われましたが、ヨナは「えっニネベなんてとんでもない!」と神様の命令を拒みました。
2. 神様の命令に従わず逃げようと考えたヨナは、港に着くとニネベとは逆方向の船に乗り込み、船底に降りていて「グーグー」といびきをかいて眠ってしまいました。
3. 海に大風が吹いて大荒れになりました。船は木の葉のように揺れ、今にも沈みそうです。
4. 「こんなに海が荒れるのは、誰かのせいにちがいない!」と全員でくじ引きをすると、ヨナに当たりました。
5. ヨナが海に投げ込まれると、大荒れの海はたちまち静かになり、人々は神様の大きな力に驚きました。
6. 海に投げ込まれたヨナに、神様は大きな魚を備え助けて下さいました。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



8月28日 神のことばを伝えたヨナ ヨナ3・1～4・11

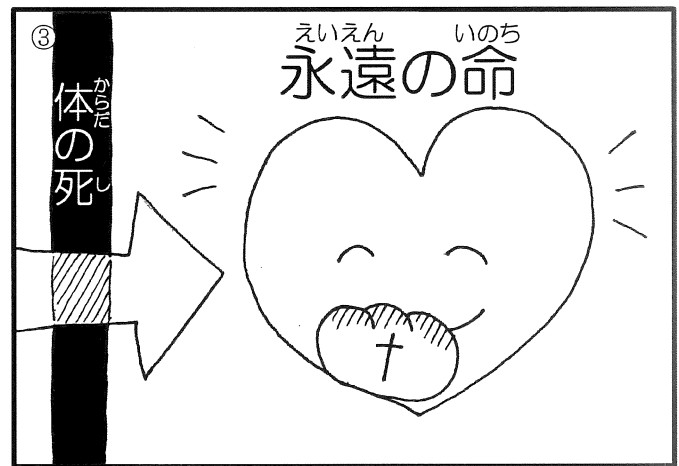
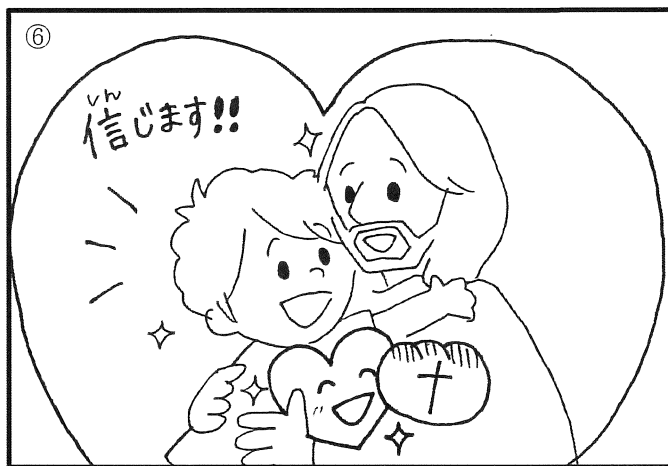
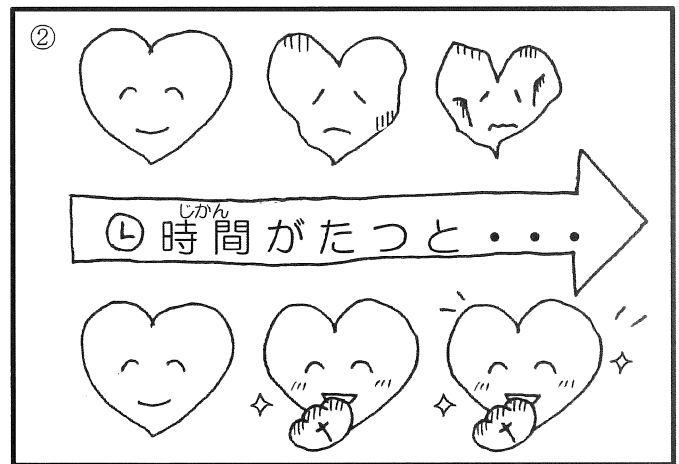
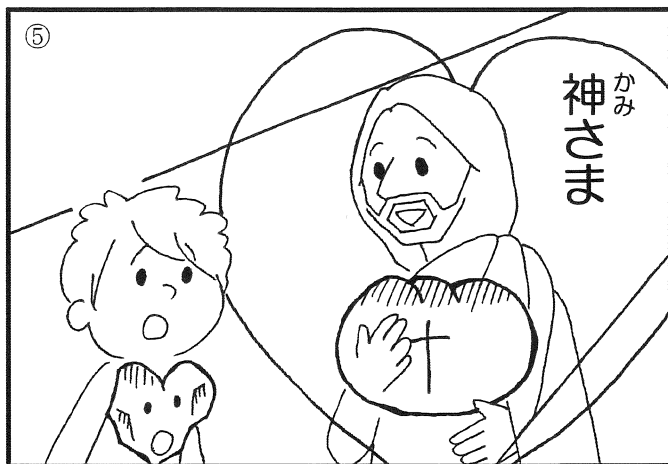
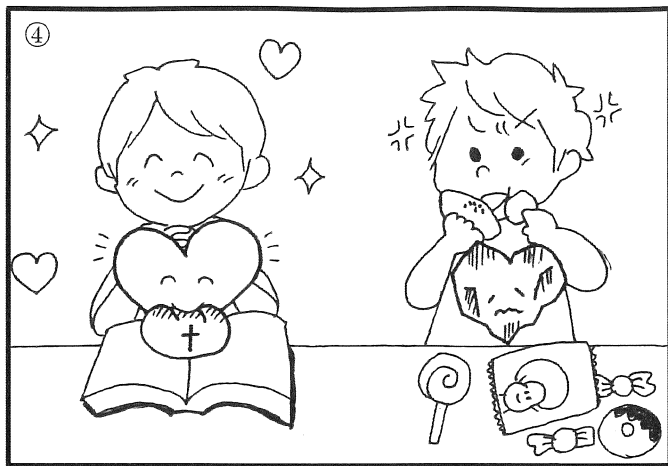
1. 心から謝るヨナを神様は憐れんで、魚に命じて陸地に吐き出させました。
2. ヨナはニネベの町を一日中歩き回りながら神様のことばを伝えました。それを聞いたニネベの人々は、びっくりして大人も子どももみんな神様のことばを信じました。
3. 王様も大人も子どもも、牛や羊などの家畜も何も食べないで「神様、ごめんなさい」と心から謝りお祈りすると、神様はニネベの町を滅ぼすのをおやめになりました。それを見て、ヨナは怒りました。
4. ヨナは町の外に小屋を作って、神様がニネベの町をどうされるのかを見ていました。神様はヨナのために葉の大きなとうごまを生えさせ日陰を作ってくださいました。
5. 神様が一匹の虫を送ってとうごまを食べさせ、焼け付くような東風を起こすとヨナは泣き言を言いました。
6. ヨナは、自分にとっていやな相手のニネベの人々も神様は救われることを望んでおられることがやっと分かりました。神様の愛は私たちが想像もできないほど、広くて大きな愛なのですね。



9月4日 権威あるキリスト マタイ8・23～27

1. ある日のことでした。イエス様が舟に乗られ、弟子たちもそれに従って行きました。
2. ところが突然、激しい風が起り、嵐になりました。弟子たちはすっかりパニックになってしまいました。
3. ところが、嵐の中イエス様は眠っておられました。弟子たちはイエス様を起こし、言いました。「主よ。私たちをお助け下さい。私たちは死にそうです。」
4. イエス様が起き、風と海をおしかりになると・・・
5. 風も海も静かになりました。イエス様は弟子たちに言われました。「なぜこわがるのか。信仰の薄い者たちよ。」
6. 嵐の中の弟子たちのように、どうしたらよいかわからなくなることが、私たちにあるかもしれません。しかしどんな時も、世界の全てを従わせる力強いイエス様に心から信頼しましょう。

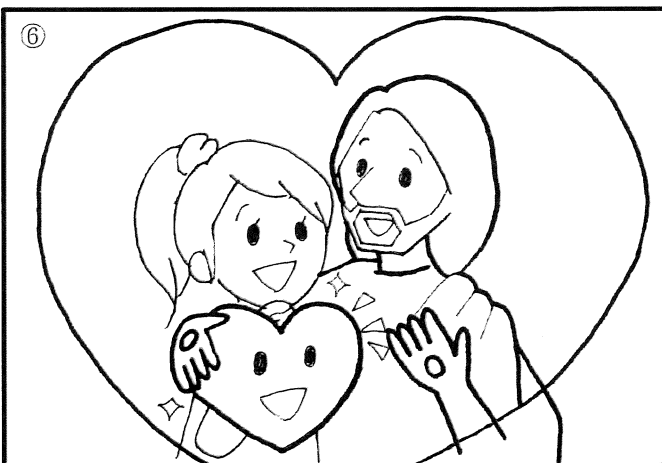
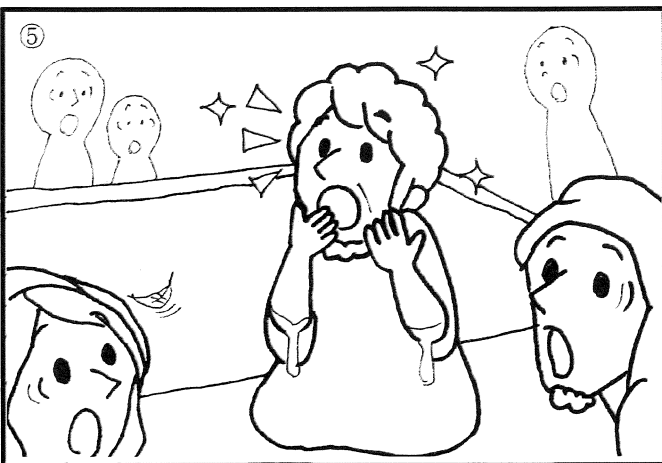
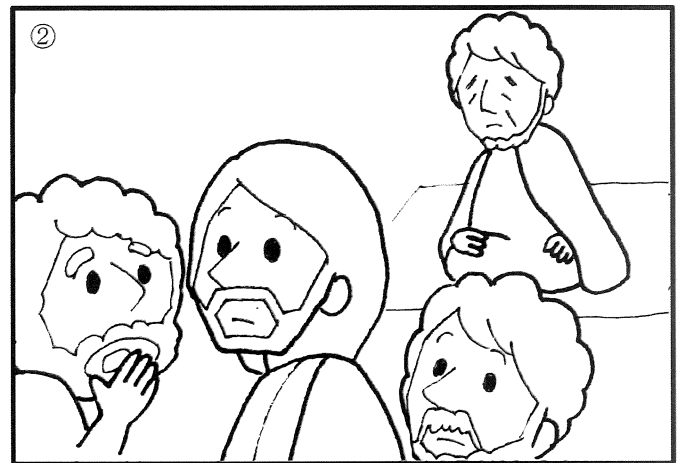
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月11日 「命の恵み」 ヨハネ 6・26～35

1. 「わたしが命のパンです」と、言われるイエス様。
2. 食事をしなければ、だんだんやせてしまう。
3. イエス様の命は、永遠の命。
4. いくら食事があっても、幸せではない。
5. イエス様は、神様がくださったパン。
6. イエス様を信じ、命のパンを心で受け取る男の子

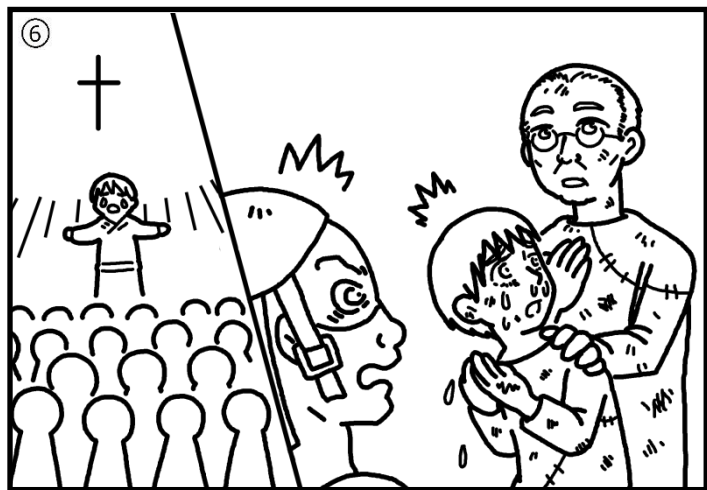
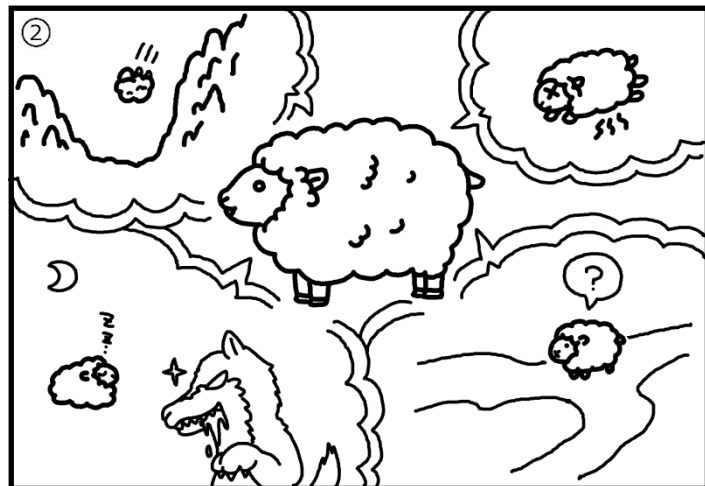
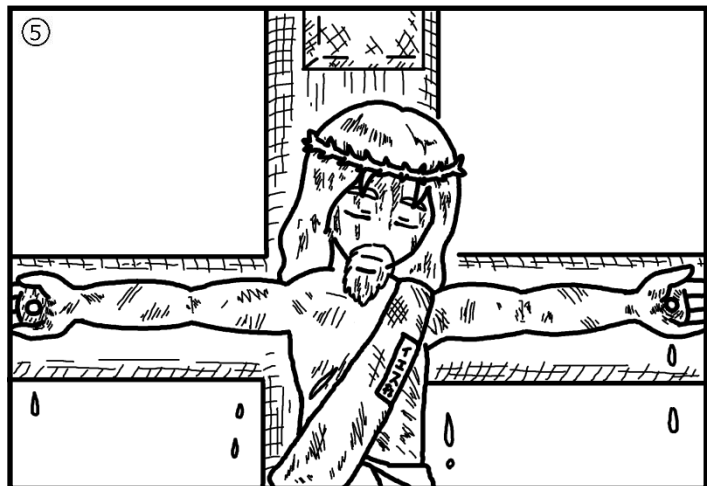
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月18日 「心の目を開いてください！」 ヨハネ 9・1～11

1. イエス様が、目の見えない人を見られている。
2. 「この人が盲人になったのは、罪を犯したからですか？」とイエス様に聞いた、弟子。
3. 「神のみわざが現れるためです」と答えられたイエス様。
4. 盲人の目にどろをぬられる、イエス様。
5. 盲人は、イエス様の言われた通りに、目を洗うといやされた。
6. 心の目を開いてくださるイエス様を、信じる女の子。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月25日 イエス様は私たちの羊飼い！ ヨハネ 10・1～15

1. ほとんどの動物は人間のお世話が要りません。でも羊は「羊飼い」がいないと生きていけないんです。
2. 羊飼いから離れた迷子の羊は、お腹はぺこぺこになり、のどはからから…危険なげや深い谷もあるのです。
3. よい羊飼いは「羊のことを良く知って」います。
4. よい羊飼いは自分が門となって番をするんです、まさに命をかけて羊を守ってくれるのです！
5. イエス様はお言葉の通りに、十字架にかかって、私たちのために命を投げ出してくださったのです。
6. コルベ神父が身代わりとして死んでくれたために、助かったガイオニチェックという人は戦争が終わってから、コルベ神父がしてくれたことをたくさんの人々に伝えました。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。